

2017年3月27日
株式会社日本電子図書館サービス

「LibrariE」導入館 30 館達成！ 図書館向け電子書籍 2 万点を突破！

株式会社日本電子図書館サービス（東京都品川区 代表取締役社長 高橋裕司）は、提供する電子図書館サービス「LibrariE（ライブラリエ）」の導入館が30館となりましたのでご報告します。また図書館向けの電子書籍コンテンツも20,000タイトルを突破しました。

2015年4月より販売を開始した電子図書館サービス「LibrariE（ライブラリエ）」の導入館がこの3月で30館となりました。内訳は大学図書館11館、学校図書館12館、公共図書館7館（TRC-DL館も含む）です。「コンテンツNo.1」を目指して、これまでにない魅力的なラインナップを図書館に提供することを念頭に活動してまいりました。その結果、導入館では利用者の貸出・閲覧利用率も上がり、大変にご好評をいただいております。

このたび、電子書籍コンテンツも2万タイトルを突破しました。3月末には、22,000タイトルを超える見込みです。この1年間、新たに20数社の出版社にご参加いただき、全体で50社の出版社から図書館向けの電子書籍コンテンツをご提供いただいております。既参加出版社からも、随時、追加タイトルが入っており、新規参加の出版社も予定されておりますので、今後も月間平均1,000タイトルペースで増加していく予定です。

当社では引き続き、国内の電子図書館サービスの普及に努めるとともに、資本提携した大日本印刷株式会社とも連携し、新鮮で面白いコンテンツの収集に力を入れてまいります。早期に100社、30,000タイトルを超えるラインナップの実現を目指しております。



■『LibrariE（ライブラリエ）』とは

以下の2つのシステムを連携運用し、独自に収集をする電子書籍コンテンツと合わせて一体的に提供している図書館向け電子書籍貸出サービスです。

- ・選書オーダーリングシステム（図書館が、予算管理をしながら選書し、ライセンスを購入する機能）
- ・電子図書館システム（図書館が利用者への貸出・閲覧・予約・返却等の仕組みを提供する機能）

■株式会社日本電子図書館サービスについて

株式会社紀伊國屋書店、株式会社講談社、株式会社KADOKAWAの3社が2013年10月に設立し、2016年11月に大日本印刷株式会社、株式会社図書館流通センターの2社と資本提携をしました。利用者・図書館・著作者・出版社のすべてに貢献できるルールメイキングとサービス提供を進めております。

<http://www.jdls.co.jp/>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社日本電子図書館サービス 管理グループ TEL：03-6420-0826